

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「カラマツ林でみんな元気」地域福祉向上事業
事業主体 (連絡先)	社会福祉法人 望月悠玄福祉会 理事長 竹花健太郎 (佐久市望月326-4 TEL0267-53-8108)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,115,195円 (うち支援金: 774,000円)

事業内容

【地域交流薪採りイベント】

- 山から不用な間伐材を運び出す森林整備活動を通して、高齢者の孤立防止、生きがいつくりと、高校生の地域福祉へ貢献する心の育成、さらに「支え合える地域づくり」を目的に実施した。

【カラマツ薪生産】

- 山から搬出した丸太を、障害福祉サービス事業所「ワークハウス牧」に通所する障がい者が、軽費老人ホームの利用者とともに、薪にして販売することで、障がい者や高齢者の活躍の場の拡大を目指した。



【延べ64名が参加した「第1回薪採り地域交流会」の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①カラマツ薪生産事業で、障がい者の「就労の場の拡大」につなげることができた。
- ②カラマツ薪生産事業の作業ボランティアとして、軽費老人ホーム・望月悠玄荘の利用者に参加していただくことで、高齢者の「生きがいつくり」につなげることができた。
- ③地域交流薪採りイベントを開催することで、高校生等子ども達が山に関心を持つ機会を提供することができた。
- ④「薪採り及び薪割り交流会」の参加延べ人数は、年間186名である。
1回目 64名+2回目 47名+3回目 45名+薪割り 30名=186名
- ⑤間伐材の有効活用により、森林整備の一役を担うことができた。平成27年度において、切り捨て間伐で放置されたままの倒木を搬出して、薪として生産した量は、約20m³である。

【目標・ねらい】

- ① 障がい者の林業への参入
- ② 高齢者の生きがいつくり
- ③ 子ども達の地域福祉に貢献する心の育成
- ④ 薪採りイベントを通しての地域交流
- ⑤ 間伐材の有効活用による森林整備

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 当法人の新規介護施設「あたり前の暮らしサポートセンター」内に、計3台の薪ストーブを設置し、障がい者が作業として薪づくりを行い、化石燃料に頼らず、施設がその薪を燃料として消費する仕組みを構築することで、「燃料の地産地消」「燃料の自給自足」という、社会福祉施設の新たなモデルを目指したい。
- 障がい者が「間伐材の有効活用」という林業の一役を担い、林業への障がい者の活躍の場をさらに拡大するとともに、森林整備活動を続けていきたい。

※自己評価【B】

【理由】

高校生から高齢者までの幅広い年代の人々が一堂に集う機会を提供することで、「支え合う地域づくり」の一役を担うことができた。今後さらに、地域住民を巻き込んで、不要な間伐材の運び出しを行い、薪の生産量を増やさなければならないと感じた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある